

特別賞



設計担当者

薩田英男

東京建築士会、(有)薩田建築スタジオ

戸建住宅(専用) | 千葉県市原市

千葉・版築のいえ

構造 | 木造

階数 | 地上2階

敷地面積 | 2,500㎡

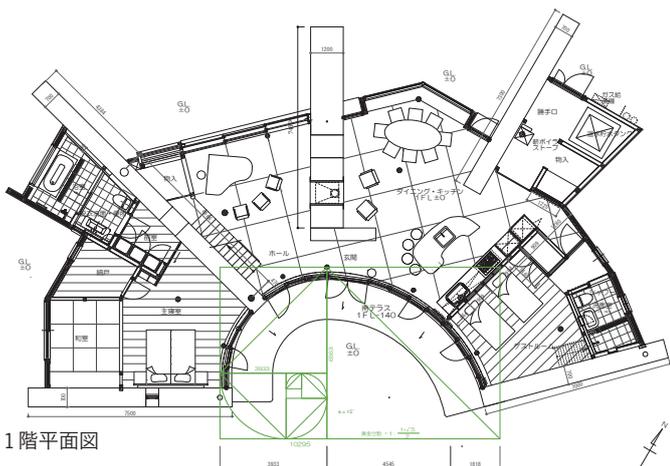
建築面積 | 182㎡

延べ面積 | 197㎡

竣工 | 平成28年3月30日



1



1階平面図

1 外観

2 内観

写真…北田英治



2

選評

千葉県市原市の小高い丘の上、ゴルフ場に隣接して建設中の小規模なコミュニティの中に、プロトタイプとして建設された山村型住宅。開発事業主体の代表者の自宅である。このコミュニティのパイロットハウスであると同時に、構築されつつあるコミュニティの絆を編んでゆく役割も担って、現在の住民たちの集いの場にも使われている。

「現代の民家」をめざして、土、杉、竹など地産産を用いて、風土資源の最大限の活用を図っている。敷地内の土に石灰を加えて固め、竹を骨として高さ2mの壁をつくり、その上に雨水や空気の流れに合わせた多面体の折れ屋根をのせている。

施工にあたっては、版築壁のモックアップ制作や強度実験、振動実験などを行い、地元職人の手で木を刻み、住まい手自らも参加するワークショップを繰り返して建設した。プランは簡素であるが、主要各室は連続して段差なくつながり、多人数の集まるホールやダイニング・キッチンをつなぐ土間としてアクセスも含めてバリアフリーを実現した。

日本の伝統文化を受け継ぎ、高齢者・障害者に配慮し、地球環境を大事に、風土を活かしたコミュニティの実現を理想に掲げ、地産地消に果敢に挑んだ例として、特別賞とすることに決定した。(松川淳子)